ガバナー月信 8月

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
2012-2013 Rotary International District 2760

2012-2013 年度
国際ロータリーテーマ

会員増強及び
拡大月間

小沢ＴＲＦ委員と共に

2012 年 7 月 2 日ロータリー財団地域セミナーにて
（グランドプリンスホテル高輪）

ガバナーメッセージ

ガバナー　千田 毅

誰をかも　知る人にせむ　高砂の　松もむかしの　友ならなくに
藤原 興風

（誰をいったい、親しい友人としようか。（長寿で有名な）高砂の松も昔からの友人ではないのに）
今月は会員増強月間です。
長引く不況、東北大震災などの影響もあり、会員増強は簡単ではありませんが、当地区の和やかで力強い結束力を生かし、会員の増強に努めてまいりたいと思います。
まずはロータリーの理想を情熱を持って語り、その方の賛同を得る事ではないかと思います。しかし、会員増強委員長ひとりでは限界があります。そこで、会員一人ひとりが、積極的に会員のご勧誘に努力いただきますようお願い致します。会員の増強はクラブの活性化を促します。新しい会員を迎えることにより、経験が豊かな世代と元気で明るい世代が強い絆で結ばれ、多くの新しい仲間、友達が加わって一層楽しいロータリーになるようご支援くださるようお願い致します。
新入会員を勧誘した会員をよくよく検証してみるとほんの数人の方々です。仲間を増やすのは他人でありません。そうです、私たち自身なのです。重ねて申し上げますが、会員増強委員長一人では出来ません。会員増強はクラブの活性化を促します。会員増強なくしてロータリーの理念の実現はできません。
しかし、会員増強は言葉で言うほど簡単ではありません。情熱を持って懸命に勧め、ロータリーを真正面から明確にそして愚直なほど真剣に説明し、ご理解を得るしかないのです。どうか一人でも多くの新しい友達が、仲間が増えるように会員増強を宜しくお願い致します。
まもなくガバナー訪問が始まります。この公式訪問では、ＲＩ田中会長のお人柄、ＲＩ方針、そして私の地区方針を説明し、ロータリー活動の推進に資するようになればと思いますが、反面、私の意図することを十分にお伝えする事ができるのか心配もしております。
お目に掛る日を楽しみにしています。

会員増強及び拡大月間

会員増強及び拡大月間について お願いを申し上げます。

地区会員増強リーダー　伊藤秀雄

当ＲＩ２７６０地区はここ数年５，０００名を割り込んで居ます。

また、ここ数代のガバナーも会員増強に付いては相当な努力をされて来ましたが、５，０００名に今一歩と言う所で未達に終り、残念な結果で交替をされて居ます。地区会員増強委員会も小山委員長を先頭に、委員会全員が一丸と成って努力を重ねられて居ますが、やはり期末にはかなりの退会者が出て大きな純増は達成出来ませんでしたが、それなりの成果だと思って居ます。

８月は会員増強月間と言う考え方は甘いです。本当に増強を考えるなら，月月火水木金金で年中、毎日が増強です。会長、幹事、増強委員長の三役だけでの増強には限界が有ります。一例ですが１月生まれの方は１月が自分の増強期間と決めて１月生まれの方々で１月には必ず１名は増強すると決意し行動すれば年に１２名の増強は可能な訳です。又、会長と幹事に成る方は各人１名は必ず増強する事も大事です。

以上何かヒントに成ればうれしいです。決して上から目線では有りません。何卒よろしくお願い申し上げます。

「各クラブに女性会員の入会」を積極的に勧める！！ 「各クラブ会員純増 3%以上」を目標に！！

地区会員増強委員会　委員長　小山 慎介

昨年の地区会員増強セミナーでは、会員増強と退会防止について各クラブがどの様に取り組んでいるのかをアンケート調査し、パネルディスカッション方式で発表致しました。

今年度は、4 月 15 日地区協議会開催の後、「2012 ～ 2013 年度のための会員増強セミナー」が開かれ、「会員増強・退会防止」がその後どの様に分区内のクラブで進められているのか各クラブの会長からガバナー補佐に報告して頂きました。又、現在分区のクラブが今後「会員増強・退会防止・各クラブ１名以上の女性会員増強」にどう取り組んでいくのか補佐の皆様に、当日セミナー講師として次年度の分区目標を下記の様に発表して頂きました。

分区名	氏名	増員目標	分区目標
南尾張分区	ガバナー補佐　杉浦三郎	19 名	女性会員未加入クラブは増員を目指す
西尾張分区	ガバナー補佐　服部孝根	23 名	会員個々に増強の意識を持ってもらう
東尾張分区	ガバナー補佐　小原久和	28 名	クラブ活動、例会の充実
西名古屋分区	ガバナー補佐　大橋昭治	40 名	ﾛｰﾀﾘｰの活動をｱﾋﾟｰﾙし、質を高める
東名古屋分区	ガバナー補佐　井上雅之	60 名	各種同好会を活発にする
東三河分区	ガバナー補佐　松井　昭	26 名	各クラブが目標に向けて行動する
西三河中分区	ガバナー補佐　本間　毅	21 名	同好会、委員会にて親睦を活発にする
西三河分区	ガバナー補佐　加藤良邦	23 名	それぞれのｸﾗﾌﾞ会員全員で増強に取り組む

入会２～３年、又、15 ～ 20 年の会員の多くが“クラブになじめない･･･。”“クラブ運営に魅力がない･･･。”といった理由で退会されます。これをクラブの会員一人一人がしっかり受け止め、会長・幹事・クラブ奉仕委員長の協力の基、クラブ会員が一丸となって退会防止に努め、魅力ある例会クラブ作りを目指し「各クラブに女性会員の入会」を積極的に勧める、又「各クラブ会員純増 3%以上」を目標に千田丸にスタートを切りました。

会員増強及び拡大月間
ガバナー活動報告

拡大月間によせて

地区拡大委員会　委員長　豊島　徳三

ロータリー指針「拡大」によると

ガバナーの指示の下に、地区拡大委員会は、地区内に新ロータリー・クラブを結成するための計画を立て、実施するものとする。

任務と責務

・新クラブを結成するための必要条件を満たすことができる人口をもつロータリー・クラブの存在しない地域社会を探し出す。

・現存クラブにより地域社会へ提供されている奉仕活動を阻害することなく、追加のロータリー・クラブを設立することができる地域社会を探し出す。

・新クラブを組織、結成するにあたり援助する。

とある。

各クラブには存在しない委員会であり、ガバナー直結、指導の元に責務を課せられている。言葉で表せば簡単ではあるが、会員増強も儘ならぬ現状を考える時、極めて困難な役割ではあるが、何とかチャーターナイトを迎えるべく努力したい。その為には委員会のみならず地区全会員のご協力を切望いたします。

第 23 回インターアクトクラブ年次大会

修文女子高等学校　インターアクトクラブ顧問　石井恭二先生

７月１６日(月)海の日､アイプラザ一宮にて第 23 回インターアクトクラブ年次大会を開催いたしました。地区内１５のインターアクトクラブと千田毅ガバナーはじめ地区内ロータリアンを含め約５００名の参加を頂き、盛大に実施することができました。今年は修文女子高等学校インターアクトクラブがホスト校となり、一宮北ロータリークラブをはじめ、一宮ロータリークラブ、尾西ロータリークラブ、一宮中央ロータリークラブにはホストロータリークラブとして大変お世話になりました。
修文女子高等学校吹奏楽部のオープニングの後、開会式は、修文女子高等学校インターアクトクラブ会長今枝ゆきの点鐘に始まり、一宮北ロータリークラブ森正志会長の歓迎の挨拶、千田毅ガバナーの挨拶、修文女子高等学校猶村七甫校長の挨拶と続きました。
「絆」～世界をつなぐ私たち～をテーマに、昨年同様、１５のインターアクトクラブが各クラブごとにステージに上がり、プレゼンテーション、劇、歌、ダンス等を通して情報発信し、その情報やメッセージを参加者全員で共有しました。また、昼食会では稲沢のアイドルグループ「ラヴィーナサーティ」の飛び入りもあり、交流を深めることができました。
次年度は、東知多ロータリークラブが提唱する阿久比高等学校インターアクトクラブがホスト校となり年次大会が開催される予定です。

開会式 千田毅国際ロータリー第2760地区ガバナー挨拶

インターアクトクラブの発表

海外派遣研修壮行会

ガバナー活動報告

2012～13年度地区ロータリー財団セミナー報告書

地区ロータリー財団委員会　委員長　深谷友尋

ロータリー財団は試験的プログラム（パイロット地区）による試行が開始されて最終年度（３年目）を迎えました。本セミナーの目的はロータリー財団のプログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を円滑に遂行し、世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援するものです。
本セミナーには千田毅ガバナー、野村重彦恒久基金日本委員・パスト・ガバナー、江崎柳節 RRFC・財団カウセラー・PDG、田嶋好博 ARRFC・PDG、田中正規ガバナー・エレクト、近藤雄亮ガバナー・ノミニー、８分区ガバナー補佐、５大奉仕委員会プラス委員会の委員長始め、82 クラブの会長・会長エレクト・ロータリー財団委員長２４７名の参加を頂き、人道的・教育的奉仕活動について研鑽を深める事が出来ました。
本年度も特別講師にロータリー・カード第２ゾーン・コーディネーター関　博子様（東京世田谷中央 RC）をお招きし、「ロータリー・カードについて」と題してご講演を頂きました。
休憩を挟んで、RRFC・地区財団カウンセラー江崎柳節パスト・ガバナー・ロータリー財団未来の夢トレーニング・リーダーより「やり甲斐に満ちた新年度」と題して、未来の夢計画最終年度活動の重要性と意義についてご講演を頂きました。
今年度のセミナーの特徴はすでに昨年度よりスタート致しました、未来の夢計画プログラムによる活動事例発表を４クラブのロータリアンにしていただきました。
名古屋南 RC・江口博寿元幹事より「新地区補助金を使用して非行少年を奉仕活動の中心中学生へ」について活動を発表していただきました。岩倉 RC 横井裕志財団委員長より「岩倉市生涯学習センターにおいて認知症講演会とよろず相談会」について事例発表をしていただきました。
グローバル補助金について、名古屋瑞穂 RC・加納　裕ＶＴＴ委員会委員より「ウガンダ共和国にメモリアル小学校　校舎の増築」について事例発表をしていただきました。
職業研修チーム委員会鈴木文勝委員長より「職業研修チーム帰国報告」をそれぞれ発表していただき、最後にロータリー平和フェローシップ第９期生「水野真希さんの近況報告」と題して、津島 RC 滝川林一副会長より発表をしていただき、今後の奉仕活動に役立てて頂きました。
各委員会からそれぞれの本年度重点目標を説明し、正午より 17 時 20 分まで長時間に亘り、熱心にロータリー財団活動に於ける意義と理想の研鑽を深める事が出来ました。

ロータリー・カード第２ゾーン・コーディネーター
関 博子様

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT2760 2012-2013

GOVERNOR　TSUYOSHI SENDA
Toyoshima Bldg. 3F 2-15-15 Nishiki Naka-ku Nagoya Aichi 460-0003 Japan
TEL: +81-52-201-2760 FAX: +81-52-201-1670
E-mail: governor12-13@rotary2760.org

ガバナー　千田　毅
〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目 15 番 15 号 豊島ビル 3 階
TEL: 052-201-2760　FAX: 052-201-1670
E-mail: governor12-13@rotary2760.org

2012 年 7 月 2 日

国際ロータリー第２７６０地区
　ロータリークラブ会長　各位

国際ロータリー第２７６０地区
ガバナー　千田　毅

国際ロータリー第２７６０地区　２０１５～１６年度

ガバナーノミニー指名候補の推薦について

当地区は、ガバナーノミニーの選出に、国際ロータリー細則第１３条に定める指名委員会手続による方法を採用しています。

ガバナーノミニーは、同条の規定により、ガバナーとして就任する７月１日の直前２４カ月以上３６カ月以内に選出することになっています。

よって、ガバナーは各クラブに対し、２０１５～１６年度のガバナーノミニーの指名候補を１名、２０１２年９月２８日(金)までに、地区指名委員会まで推薦されることを要請します。

別紙「指名候補者推薦書」により、下記ガバナー事務所宛に送付して下さい。

記

指名候補者推薦書〆切日：２０１２年９月２８日（金）１７時

送付先：〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目 15 番 15 号　豊島ビル 3 階
TEL:052-201-2760　FAX:052-201-1670
Email:governor12-13@rotary2760.org

国際ロータリー第２７６０地区ガバナー事務所

地区指名委員会

委員長	大澤輝秀 (PDG)
副委員長	田嶋好博 (PDG)
委員	江崎柳節 (PDG)
委員	片山主水 (PDG)
委員	松前憲典 (PDG)

以上

新聞記事より

中部経済新聞　2012年7月11日(水)／7月17日(火) 掲載

大村愛知県知事を表敬訪問

激務遂行にエール送る　地区大会へ出席を快諾

◀ 大村秀章知事(中)を訪問した千田ガバナー(右)と柳澤地区幹事(左)

▼ 大村秀章知事（右）に活動方針などを紹介する千田ガバナー（左）

クラブの枠

RI第2760地区 千

世界平和、地域に貢献

ワンコインプロジェクト 被災地の高校生支援

奨学金支給制度に協力を

河村名古屋市長を表敬訪問

力合わせて復興支援

大村愛知県知事を表敬訪問

RI第2760地区 千田ガバナー

高校生奨学金など息長く

激務遂行にエール送る 地区大会へ出席を快諾

中日新聞社 表敬訪問

▲ 右から 小出宣昭中日新聞社社長、大島宏彦パストガバナー、千田ガバナー、柳澤地区幹事

河村名古屋市長を表敬訪問

▲ 河村たかし市長（右）を訪れた千田ガバナー（中）と柳澤地区幹事

委員会報告

第２回被災高校生支援事業打ち合わせ会報告

被災高校生支援委員会副委員長　岡本光生

平成２４年５月２９～３０日の一泊二日の日程で、本支援事業の受け入れ先である第２５２０地区委員会及びホストクラブの二戸 RC 関係者との第二回打合会に出席しました。
会議前日の夜にはメンバー全員が二戸 RC の例会に出席して交流を深めました。地元の銘酒「南部美人」をふるまわれての和気あいあいの宴となりました。
翌朝は早々から今後の事業活動の具体的な進め方を中心に、真摯で有意義な議論が取り交わされました。

第２回被災高校生支援事業打ち合わせ会

日時　平成２４年５月３０日（水）AM ９：３０～１１：００
場所　二戸ロイヤルパレス
出席者（敬称略）
　２５２０地区：小野寺則雄・新毛國信・田中勝則・丹野明法・中田勇司・黒澤一史
　二戸 RC　　：管　弘志・中村　茂・岩下石男・荒谷拓和
　２７６０地区：千田　毅・栁澤幸輝・本多　満・浜　洋一・岡本光生・笹野暢宏
協議事項

- 支援事業における各地区委員会の役割確認
- 募金活動と日程確認
- 支援金の送金方法について
- 支援対象生徒への告知及び選考方法について
- 交流事業の内容に関する意見交換
- その他

青少年交換委員会からの報告

一宮ロータリー　前年度幹事　佐々木久直

スティーブンようこそ一宮ロータリーへ

　スティーブンは福島原発事故の放射能汚染が心配され、他の留学生が中止にする最中、日本にどうしても来たいとの思いで決断し、米国ペンシルバニア州から昨年８月 25 日に来日してくれました。彼の目的は憧れの日本の漫画文化に直接触れることでした。毎週月曜日に販売される少年ジャンプが、彼の生きた日本語の教材です。学校は大成中学にお世話になり、彼が日本に来たもう一つの目的である柔道を習いました。また、大成中学の久保田先生、小笠原先生にしっかりと日本語を習い、帰国間近の７月１日に日本語検定２級を受験しました。ホストファミリーの梶浦家、鈴木家、青山家、佐々木家と大森クラブ新世代委員長には、秋葉原や京都など、いろいろな日本の名所に連れて行って頂きました。全て心に残る思い出になる事でしょう。彼はとても真面目で素直な性格で、ホストファミリーとしても助かりました。地区青少年交換委員会のプログラムも素晴らしく、岡田委員長始め、委員の皆様には大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。そして、寂しいですが７月６日にアメリカへ帰国致しました。スティーブン頑張れ！

リスボン国際大会のお知らせ ❶

国際大会

ロータリアンの皆さま

ロータリーの国際大会は、非常に大きな力を持っています。私にとって初めての国際大会は、1980年のシカゴ大会でした。世界中からロータリアンが集まり、協力して多くを成し遂げている様子は、とても鮮烈な思い出として、今でも私の心に残っています。

初めての国際大会には、ロータリー・クラブの一会員として出席しましたが、このとき初めて、真のロータリアンになったと実感しました。シカゴでの感動は、現在も私の心に焼き付いています。毎年、ロータリー世界のさまざまな場所で開かれる国際大会に出席し、素晴らしい経験を楽しんでおります。

2013年の6月23日から26日まで、ポルトガルのリスボンにて、第104回国際大会が開催されます。開催地がポルトガルであるということを、私は日本人のRI会長として、とても嬉しく感じております。と申しますのも、ポルトガルと日本には、1542年以来の友好の歴史があるからです。その年、ポルトガルの船が、日本の種子島にやって来ました。航海士たちは日本に来るつもりはなかったのですが、強風のため航路を逸れてしまったのです。しかし、幸いなめぐり会わせと申しましょうか、ここから平和的で豊かな関係が始まったのです。

ポルトガル人が日本を発見したのは偶然ですが、リスボンが国際大会の開催地となったのは偶然ではありません。リスボンは「平和の港」です。そして「平和」は、500年に及ぶ日本とポルトガルの交流のテーマとなってきたように、この国際大会のテーマとなります。

毎年、ロータリー国際大会に集まる数日間に私たちが目にするのは、まさに世界の理想像です。さまざまな皮膚の色や文化を持つ人々が集い、より良い世界を築くために協力するのです。

2013年、ロータリーを通じて、「平和の港」リスボンに集いましょう。この国際大会の議長を務めさせていただくことを、大変光栄に感じております。会場にて皆さまにお会いできますことを、心より楽しみにしております。

田中作次

田中作次
2012-13年度RI会長

リスボン国際大会のお知らせ ❷

国際大会

ロータリアンの皆さまへ

平和の港リスボンで開催される 2013 年 RI 国際大会は、日本人の RI 会長として 30 年ぶり、3 人目となる田中作次 RI 会長の年度を祝う機会となります。国際大会への思いが綴られた、田中作次 RI 会長からのメッセージをお読みください。

国際大会への参加を通じて、ロータリーが世界に与えている影響を肌で感じ、クラブや地区が取り組む奉仕の質を高める方法をぜひ学んでください。国際大会に出席する理由は、実にさまざまです。

- ロータリーの国際性を実感する。
- 友愛の家や非公式の関連行事を通じてロータリアンとのネットワークを広げる。
- 著名人による講演を聞く。
- 奉仕プロジェクトについて学び、国際奉仕プロジェクトで協力できるロータリアンを見つけることで、奉仕の機会を発見する。
- 本会議と分科会を通じて、ポリオ・プラスなどの財団プログラムについて学ぶ。
- 次期クラブ会長のための特別分科会や会長エレクト主催リーダーシップ昼食会で、ロータリーのシニアリーダーやほかの仲間たちとアイデアを交換し、リーダーシップのスキルを磨く。
- ホスト組織委員会のロータリアンの企画によるリスボン観光を楽しむ。
- 家族と楽しい時間を過ごす。

ゲストと一緒にご参加ください

ロータリアンは、ゲストを 4 名まで登録できます。国際大会への出席を機に、ロータリアンとなる方も大勢います。ゲスト登録費用はこちらをご覧ください。

※下線付きの語句をクリックしても、リンク先に飛ばない場合は、
http://www.riconvention.org/ja/2013/whyattend/Pages/Rotarians.aspx　をご参照ください。

リスボン国際大会のお知らせ ❸

2013年RI国際大会に出席しましょう！

日時：2013年6月23日～26日　場所：ポルトガル リスボンにて

写真提供：増田 浩男 君(名古屋東RC会員)

第2760地区 千田ガバナーと一緒に出席しましょう。

2012-13年度田中作次ＲＩ会長より、『2013年、ロータリーを通じて、平和の港 リスボンに集いましょう。この国際大会の議長を務めさせていただくことを、大変光栄に感じております。国際大会に、出来るだけ多くの方に、特に日本のロータリーの方にきていただきたく思います。』
とロータリアンの皆様へコメントをいただいています。

2013年6月22日夕方（千田ガバナーを囲んでの食事会）・23日（開会式）～26日

大会登録は、２７６０地区８２RCで一括登録致します。
＜一括登録をされた場合のメリット＞
① 開会本会議の午前に出席できます。（午前・午後の2回開催されます。）
② 登録者に渡される関連資料やグッズを6月２２日夕方食事会迄に準備できます。

登録は、10月20日までにRCでまとめて、ガバナー事務所へお申し込み下さい。
早期登録にご協力下さい。（早期登録割引を利用します。現地登録より27% off）

※登録及び千田ガバナーを囲んでの食事会の詳細は、別途ご案内させて頂きます。

【連絡先・お問い合わせ先】
ガバナー事務所：TEL　０５２－２０１－２７６０
Mail　governor12-13@rotary2760.org

広報・雑誌委員会のよもやま話 No.7

地区広報・雑誌委員会
委員長：硲伸夫（豊田西）　佐久間武美（豊橋北）　山口眞（名古屋中）　池森由幸（名古屋千種）
委　員：堀尾明史（尾張中央）　川澄哲裕（半田南）　城野八代江（名古屋名駅）　深石公彦（岩倉）
岡田邦義（岡崎）　松崎美都子（守山）　山川克彦（名古屋みなと）
河村嘉男＜ロータリーの友地区代表委員＞（小牧）

■ 地区内クラブの活動情報を地区で一括して情報発信！

地区広報･雑誌委員会は、今年度から地区内各クラブの活動内容を抜粋して、地区広報･雑誌委員会ホームページと地区広報・雑誌委員会 Facebook で情報発信して参ります。

つきましては、各クラブにおかれましては、毎月月末に、翌月の例会案内情報と、当月分のウイークリー情報をデジタル･データで提供をお願いします。各クラブの活動内容を、地区広報･雑誌委員会ホームページおよび、Facebook を介して一般市民向けに情報発信します。その際に、各クラブでホームページを開設されている場合には、そのホームページへのリンクも付けますので、逆に各クラブのホームページにも第 2760 地区ホームページへのリンクを付けて下さいますようにお願い申し上げます。このように、相互にリンクを付け合うことによって、ホームページのアクセス数も向上し、ロータリー・クラブ全体の認知度が上がることに寄与することと思いますので、お手配下さいますようによろしくお願い申し上げます。

広く情報発信を行い、また、継続的に行っていくことによって、ロータリー活動の広報に努めます。多くの方に興味を持っていただける情報発信を目指しますので、出来る限り写真等の画像データもご提供下さい。

また、Facebook へのご参加もお願いいたします。第 2760 地区の情報を受信していただくだけで構いませんので、Facebook にご登録の上、第 2760 地区 Facebook の「いいね！」ボタンをクリックして下さい。メンバーの皆さまの積極的なご協力が欠かせませんので、ぜひ、ご理解いただき、ご協力下さいますようお願いいたします。

文庫通信 298号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー５０周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万３千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。
閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。
また、一部資料はホームページでＰＤＦもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報より

◎「あなたにとってロータリーとは何か　改訂版」 菅野多利雄　2012　23p

［申込先：緑ヶ丘病院　FAX(022)366-6243］

◎「国際ロータリーの考え方」 田村泰三　2012　1p（D.2710 月信）

◎「CLP アンケートについての考察」 前田眞実　2010　4p（D.2720 月信）

◎「続まことのロータリアン」 大澤德平　2012　1p（D.2640 月信）

◎「クラブの「多様性」について」 積 惟貞　2012　1p（D.2620 月信）

◎「P.F. ドラッカー５つの質問」 国永秀男　2011　4p（D.2680 地区大会記録誌）

◎「中国『大国化』のなかでの日米関係」松尾文夫　2011　4p（D.2650 地区大会記念誌）

◎「国際社会における日本の立場」 青山繁晴　2011　4p（D.2660 地区大会記録）

［上記申込先：ロータリー文庫］

ロータリー文庫

〒 105-0011 東京都港区芝公園２丁目６番 15 号 黒龍芝公園ビル 3F
TEL03-3433-6456　FAX：03-3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp/
開館＝午前 10 時～午後５時　休館＝土・日・祝祭日

ハイライトよねやま148

1. 寄付金速報 ― 2011-12 年度寄付金結果 ―

2011-12 年度の寄付金は約 12 億 9,500 万円でした。前年度と比べて 1.5%減、（普通寄付金 0.3%減、特別寄付金 2.0%減）、約 1,900 万円の減少です。震災復興に向けて厳しい環境の中、会員数が減少しているにもかかわらず、特別寄付をしていただいたロータリアン数は約 240 人増加しました。また、個人平均寄付額も 14,624 円と、前年から減ることなく 24 円増加しました。

2. 学友の姫軍さんから 6 年連続で毎年 50 万円の寄付

中国の米山学友、姫軍さん（1995-97 ／東京臨海ＲＣ）から今年も 50 万円の寄付を頂きました！

3. 第２回米山奨学委員長セミナーを開催

6 月 8 日、2012-13 年度地区米山奨学委員長を対象とする第 2 回目のセミナーが開催されました。奨学生採用における指定校選定や面接選考などの実務説明のあと、当会選考委員会副委員長・関場慶博氏を講師に迎え、各地区で今後実施する「面接官対象オリエンテーション」のためのトレーニングが行われました。今後、各地区で面接官対象オリエンテーションが実施されますが、今回のトレーニングが活用されることが期待されます。

4. 学友が韓国・済州ＲＣ第 50 代会長に就任

韓国・済州（チェジュ）大学の教授で、ロータリアンでもある米山学友・康珉秀さんから、第 3660 地区済州ＲＣの第 50 代会長に就任したとの嬉しい報告がありました。この知らせを受け、仙台ＲＣに所属する第 2520 地区直前ガバナー・菅原一博氏と前地区米山奨学委員長の白鳥 淳氏が、連名で祝電とメッセージを贈りました。

お詫びと訂正

ガバナー月信８月号 39 ページ掲載の、名古屋みなとロータリークラブ幹事 橋本修三様の顔写真が間違っていましたので、お詫びして訂正致します。 →

正

名古屋みなとロータリークラブ
幹事
橋本 修三